

1 テーマ

小規模校でのICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実

2 テーマ設定の理由または、課題

伊目小は全学年単級、全校児童78人の学校である。各学年の人数構成は3人～24人と、ばらつきがある。

本校は近年、児童数の減少に直面している。6年生児童は20人以上在籍しているが、10人に満たない学年もある。このような実態を踏まえて今年度テーマを「小規模校でのICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実」とした。人数が少ない中、学校全体で個別最適な学び、協働的な学びを実現させるために、どのようにICTを活用していけるのか、本校の取組を紹介する。

3 実践内容（計画）

①週一回行われる「ICTタイム」

毎週水曜日の朝の時間に、「ICTタイム」を行っている。昨年度までは、「タイピングタイム」として、児童にクロームブックに親しんでもらうため、全校で「キーボー島」を利用してローマ字を使ったタイピングの練習を行った。

本年度からは「ICTタイム」として、縦割り活動の時間を設定している。各縦割り班でクロームブックをもって集まり、「タイピング」「情報モラル」「プログラミング」について互いに教え合っている。低学年児童はまだ分からないことも多くあるため、高学年が低学年に教える形で進めている。

②伊目っ子発表会（2月実施）

2月に、伊目っ子発表会が計画されている。昨年度までは、各学年の総合の授業で学んだことを中心に、劇を交えながら発表を行ってきた。しかし、本年度からは児童数の減少もあり、昨年度とは異なる形での実施を模索してきた。

そこで本年度は、クロームブックを用いて自分が学んだことを発表するという形で行うことを計画している。「ミライシード」の「オクリンク」や、「Google Workspace」の「スライド」などを用いて、児童が授業で学んだことを自分でまとめ、他の人の前で発表（プレゼンテーション）を行うことで、自分の考えをまとめたり、表現する力を身に付けたりすることを期待している。

4 成果と課題

「ICTタイム」を設けたことで、クロームブックを正しく使うために、児童同士で考えたり、タイピングやプログラミングの技能向上のために練習したりする時間を確保することができた。昨年度までは学年別で行っていたが、人数が減少している今、こうした縦割り活動の重要性がとて増しているように感じる。高学年児童が低学年児童を教えるのにまだ不慣れなところは見られるが、「タイピング」「情報モラル」「プログラミング」のそれぞれで抑えるポイントを児童と共有し、学校全体で取り組んでいけたら良いと思う。

伊目っ子発表会についてはまだ計画段階だが、それぞれの児童が自分の意見を表現するためにはクロームブックの活用は不可欠だと考える。「低学年の発表はどうするか」「話すことが苦手な児童は1人でできるのか」などの課題がまだあるため、最適な方法を今後探していきたい。